

## 第23回 児童部会

### — 開催要綱 —

「児童部会という子どもの事を考える研修会なのに、なぜ、当事者である子どもたちが参加していないのか」という一つの疑問から、一昨年の名古屋大会、昨年度の東京大会には子どもたちも参加して大人たちと一緒に発表や討議をしました。今回大阪の児童部会も主体は子どもたちです。各地域の中学生以上の子どもと大人たちが共に居場所の必要性を通して、子どもの権利を考えます。

1994年に批准された「子どもの権利条約」の認知度を、日本が批准してから25年経過した2019年にセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが調査をしました。その結果内容は、子どもの権利条約を良く知っている子どもは8.9%、大人は2.2%でした。さらに子どもの権利条約を聞いたことがない子どもたちは31.5%で大人は42.9%という衝撃なデータが提示されていました。

大阪の中学生以上の子どもたちは、施設や年齢の垣根を越えて活動してきました。会議やキャンプ活動を通して視野を広げ、学びを深める中で子どもたちそれぞれが、活動を進める「主体」に変化したのだと私たちは理解しています。この数年、子どもたちが最も大切にしていたキーワードは「居場所」です。それは仲間の「不登校」問題を考えたことから始まりました。でも「居場所」ってなんだろう？

今回のゲストスピーカーは、学校の中に子どもたちの居場所(サードプレイス)を創り出す活動を展開している「NPO法人 FAIR ROAD」の副理事長 栗本 正則氏です。居場所の大切さや学校内で居場所活動を展開している理由、そして、長年関わっているタイの子どもたちの現状を紹介していただき、「子どもの権利と居場所について」を参加者全員で話を深めていきたいと思ひます。

東京・名古屋・大阪の子どもたちの新たな出会いは、町の中に新たな居場所を創るきっかけになるかも知れません。それは、今回の参加者が次の地域福祉の担い手に育つという事です。そんな夢と希望が詰まった研修会をみんなで創っていききたいと思ひます。ご関心のある方の、たくさんのご参加お待ちしております。

Theme

# ★ 子どもの権利と居場所について ★

= 地域にたくさんの居場所をつくろう =

- ★ テーマ 『子どもの権利と居場所について』 = 地域にたくさんの居場所をつくろう =
- ★ 日時 2024年12月14日(土) 14時30分から21時
- ★ 会場 大阪市住吉区「長居保育園」 最寄り駅 : JR長居駅 / 大阪メトロ長居駅
- ★ 主催 日本地域福祉施設協議会 特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会
- ★ 参加者 中学生・高校生・大学生・子どもの権利や居場所について興味のある方はどなたでも。
- ★ 参加費 4000円(交流会含む) 学生無料
- ★ 申込 締切11月30日(土)  
Google フォームからお申込みください。



- ★ その他 ★参加申し込みはこちら
- ◎ 宿泊についてはホームステイと長居保育園宿泊両方で考えています。  
(保育園宿泊の方は布団レンタル費が別途必要になります。寝袋持参もOK👍)
- ◎ 宿泊現地にお風呂やシャワーはありません。入浴希望者は近隣銭湯🛀で入浴願います。
- ◎ 食事: 12/14 昼食と 12/15 朝食🍳は各自で済ませてください。
- ◎ 天王寺まで大阪メトロ🚇で10分。天王寺ハルカス🏢や動物園🐼にも遊びに行くことができます。

## 🕒 タイムテーブル 🕒

- ▼14:00 受付開始 ▼14:30 開会式
- ▼14:40 第一部 NPO法人 FAIR ROAD 栗本 正則 氏「子どもの権利と居場所について」
- ▼17:00 第二部 みんなで考えよう「居場所って何?」 ワールドカフェ形式で
- ▼19:30 交流会 大阪名物粉もの大会(たこ焼き・焼きそば・串カツ etc)
- 21:00 終了・解散後、銭湯に向かいます(希望者のみ540円です)

### 栗本 正則 氏のご紹介

NPO法人 FAIR ROAD 副理事長

2012年12月NPO法人FAIR ROADを設立。設立当初はタイのスラムやタイ・ミャンマー国境の難民キャンプ、移民学校の「絶対的貧困」の子どもたちに絵本やソーラーランタンを届ける活動を行う。

2017年度から大阪府教育庁の委託事業として「高校内居場所カフェ」を運営。また、大阪市立中学校での「中学校内居場所」、地域との協働で小学校区の「地域の居場所」を運営し、小学校～高校、そして卒業後の若者まで成長に寄り添い「いる場」を支える。

子どもたちが困っているときにだけ関わるのではなく、日常から子どもたちと関る(予防)。子どもの利益を優先し子どもの声から出発する活動を展開している(主体性)。

